

2019年度事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人ゆにばーさる

1. 事業の成果・課題

2019年度は福山市人権交流センター、福山市竹ヶ端運動公園の各委託事業と立進工房の運営などを行いました。

尚、各事業の詳細・成果・課題については添付資料をご参照ください。

2. 事業の実施に関する報告事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 (人権交流センター事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
人権啓発事業 (ロビー展示)	別紙添付	年間8回	人権交流センター	2人	市民及び来場者	0
人権啓発事業 (ニュース発行)	交流センターの行事や福山市のお知らせなどを掲載	年3回発行	人権交流センター	2人	市民各7000部発行	138,910
人権啓発事業 (ヒューマンシネマサロン)	映画「聲の形」上映会	6月30日 9:00～ 13:30～	人権交流センター	2人	市民66人	142,078
人権啓発事業 (人権講演会)	人権講演会「子供たちの明日を考える」～広がる格差と貧困～	10月6日 13:00～14:30	人権交流センター	2人		20,381
人権啓発事業 (人権フェスタ)	別紙添付	12月8日 9:30～15:15	人権交流センター	2人(他にボランティアスタッフ)	市民400人	274,780
人権啓発事業 (ホームページ作成)	人権交流センターの各種情報発信	随時	人権交流センター	2人	市民	0

576149

(独自事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
人権啓発事業 (ペットボトルキャップ回収・ワクチン支援)	市内で収集されたペットボトルキャップの取りまとめ・業者への引き渡し、売上金による途上国へのワクチン支援	随時	人権交流センター	2人	市民及び途上国の子どもたち	0

(立進工房・竹ヶ端運動公園事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
高齢・障がい者支援事業	竹ヶ端運動公園除草清掃剪定業務委託、外溝保守業務委託及び自動車仲介事業 農業	年間通して	立進工房作業所及び竹ヶ端運動公園	19人	市民及び来場者	16,920,174

2019年度 業務実績報告書 (総括表)

1. 事業別業務集計

1. 人権啓発業務 11件 (ロビー展示8回, 人権啓発交流行事3回)
2. 情報収集発信業務 7回 (人権交流センターニュースの発行など)
3. 交流室の運営 7回 (人権啓発交流行事の実行委員会・反省会など)
4. その他業務

2. 事業別成果と課題

(1) 人権啓発業務

人権啓発交流事業は、幅広い市民を対象にした事業として、企画・実施することを目標とし、人権交流センター団体交流室に登録している団体を中心にさまざまなグループに参加の呼びかけを行った。

人権・平和フェスタでは、登録団体のみではなく、人権交流センターを利用している団体や市内の学校へも広く声かけを行い、実行委員会(7回開催)を組織し、行事の内容や、当日の運営方法、役割分担などについて協議した。その結果、多くの方がスタッフとして参加し、主体的に担当してもらうことができた。

実行委員会を構成した団体や学生の多くが、ホールでの展示に参加したので、それぞれの日常活動を多くの人に知ってもらう良い機会になった。

(2) 人権情報収集発信業務

人権交流センターニュースは、センターの展示や行事の案内を中心に掲載したもの(A4版)を3回発行し、市内の公共施設や学校、市民団体などに配布した。

福山市のホームページにおいては、ロビー展示や人権啓発行事のスケジュールにあわせ、内容の更新をするなど、人権・生涯学習課と連携し、情報発信のための有効な手段となるよう努めた。

(3) 団体交流室の運営

交流室に登録している23団体には、子どもの問題・DVの問題・部落問題などさまざまな場面で役割を分担してもらった。

(4) その他業務

施設利用者への案内・事業展示ポスター掲示(交換)

施設利用者への貸館受付

インターネット掲示板パトロール

2019年度 人権交流センター関係事業報告

1. 人権啓発業務（ロビー展示）について

2019年度は8回のロビー展示を行った。その内訳は、交流センター所蔵のパネル、人権平和資料館所蔵のパネルである。また、市内で活動している人権団体・平和団体がそれぞれの活動を紹介する展示も実施した。

いずれの展示も人権と平和の課題について提起し、人権と平和の発信基地としてのセンターの役割を果たすことができた。

【展示名】 ①「子どもの人権…虐待・いじめ・問題行動」

【実施期間】 2019年4月11日（木）～5月16日（木）

【展示内容】 1989年11月国連で「子どもの権利条約」が採決されました。しかし世界では、子どもの生存権さえ脅かされ、子ども人権はきびしいものがあります。

経済的に豊かとされる日本の子どもたちにも「虐待・いじめ・問題行動」など、子どもの人権が深刻な問題があることを、展示を通じて訴えた。

【成果課題】 子どもを取りまく状況を振り返り、子どもたちの人権が尊重される社会を実現していくために、どうしていかなければならないか考えることができた。

【展示名】 ②「障がい者差別って何？」

【実施期間】 2019年5月23日（木）～6月27日（木）

【展示内容】 国連の「障がい者の権利に関する条約」の締結に向けた国内法制度の整備の一環として、全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、2013年6月、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障がい者差別解消法」）が制定され2016年4月1日より施行されました。

条約や法律の内容を、分かりやすくしたパネルにしたものを展示しました。

【成果課題】 障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを伝えることができました。

【展示名】 ③「子どもたちの太平洋戦争」

【実施期間】 2019年7月4日（木）～8月15日（木）

【展示内容】 三原市在住の岡田黎子さんは、自らの学童期の戦争体験を“画集「絵で語る子どもたちの太平洋戦争」（文芸社）”として出版されている。岡田さんの画集をもとに、本人の語りを入れたパネルを展示した。

【成果課題】 当時の子どもたちの学校生活や国民が戦時体制に組み込まれていく様子と分かりやすい語り口で描かれていて、平和について考えるきっかけとなった。

【展示名】 ④「橋のない川」

【実施期間】 2019年8月22日（木）～9月26日（木）

【展示内容】 奈良盆地の農村の「小森部落」を舞台に、被差別部落に生まれたがゆえにいわ

れなき差別を受けながらも、のがれようのない差別からの解放に向けた闘いと、不条理を打破するために立ち上がっていく物語をパネルにて紹介した。

【成果課題】 いわれのない差別の解決は、人間の平等と人権確立のための闘いであり、その考え方は普遍的な思想として、ひろげていかなければなりません。部落差別はいまだに現存しており、その啓発はすべての人権問題の解決に通じるものがあり、市民一人ひとりに浸透していくことができた。

【展示名】 ⑤「意欲と主体性を育てる環境保育」

【実施期間】 2019年10月4日（金）～11月14日（木）

【展示内容】 自己疎外に陥った保護者による子どもの虐待が激増しています。また、保育所や学校からは、しっかりと遊び込むことができない、些細なことですぐにキレル、ものごと集中できないなど、子どもたちの心配な状況が報告されています。

そこで、この展示では、子どものやりたいと思う意欲と自分で遊びを選ぶ主体性を育てる「環境保育」に取り組んでいる保育所の実践を紹介し、保育所・幼稚園・地域・家庭が一体になって子どもを育てる取り組みをパネルにして紹介した。

【成果課題】 展示するパネルから、自分でやりたいと思う子どもの気持ちを引き出すには、どんな保育室をつくれればいいのかというヒントが見えてきます。これは、保育所や幼稚園だけでなく、条件を整えれば子どもは豊かに育つという意味で、家庭や地域でも実践できることであり、子育て中の親への応援メッセージにもなった。

【展示名】 ⑥「人権と平和にはせる私たちの願い」

【実施期間】 2019年11月21日（木）～12月26日（水）

【展示内容】 人権と平和の確立をめざして、取り組みを行っている福山市内の団体の活動をパネル等で紹介した。

それぞれの団体に写真パネルや現物資料などの展示により、活動への理解と賛同を得、活動者を増やす機会とするため行った。

【成果課題】 身近な人たちの活動を紹介することにより、人権・平和の問題は一人ひとりの生活に深く関わっていることを来館者に理解していただいた。

【展示名】 ⑦「世界人権宣言とホロコースト」～ユダヤ人差別が生んだ大量虐殺～

【実施期間】 2020年1月9日（木）～2月13日（木）

【展示内容】 世界人権宣言が、国連の第3回総会で採決されて、71年になります。世界人権宣言は、人類に多大な惨禍をもたらした第二次世界大戦を痛烈に反省することの中から生み出されました。それゆえに、同宣言の基本精神は「差別を撤廃し人権を確立することが恒久平和を実現する確実な道であること」を明らかにするとともに、差別撤廃と人権確立のために、国際連帯の重要性が強調されています。

しかし、今の世界情勢をみると、自国の利益を優先する政策や、そのために国の指導者に権力を集中する動きが見えてきています。

そこで、世界人権宣言の発端となったナチスによるホロコーストが、どのようなものであったかを振り返り、すべての人々が平等に持っている、人権と命について考えるきっかけができた。

【成果課題】 ユダヤ人差別の歴史とナチスが行ったホロコーストの過程をたどりながら、世界人権宣言に書かれている人権項目とナチスの人権剥奪行為がどのように大量虐殺に関わったかを学べた。

【展示名】 ⑧「識字運動」—文字を取り返した人々—

【実施期間】 2020年2月20日(木)～3月26日(木)

【展示内容】 同和地区出身者や在日朝鮮人・韓国人、そして、貧しい家庭に育った人たちの中には、学校へ行くことができず、読み書きができない人がたくさんいました。生活するうえでたいへん難儀をしますが、多くは「仕方がないこと」と諦めていました。しかし、識字運動に出会い、慣れない手に鉛筆を握りしめて「奪われた文字」を取り返してきました。そして、生きてきた道を綴る活動を通して、人間としての誇りに目覚めてきました。

この展示では、識字学級に通う人々の姿を紹介することにより、人間がもっている底力と、差別の中を生き抜いてきた優しさを紹介することができた。

【成果課題】 識字学級で綴られたたどたどしい文字、行間にあふれる人間の優しさが伝わってくる作品は、観る人に大きな感動を与えるとともに、この人たちから文字を奪った差別の厳しさに思いをはせて、人権確立の大切さを改めて知った。

2. 人権啓発業務(人権行事)について

映画会、人権講演会、人権・平和フェスタを実施した。特に人権・平和フェスタでは、団体交流室に登録している市民団体をはじめ、その他の多くの学生や市民団体の協力を得て実行委員会を組織し、6回の事前会議を開いた。当日の運営方法と役割分担などについて協議してきた。

また、人権・平和フェスタ終了後に反省会を開き課題と成果について話し合った。

【行事名】 ヒューマンシネマサロン 映画「聲の形」

【実施日】 2019年6月30日(日)1回目 10:00～, 2回目 13:30～

【参加者】 66人

【内容】 “退屈すること”を何よりも嫌う少年、石田将也。

ガキ大将だった小学生の彼は、転校生の少女、西宮硝子へ無邪気な好奇心を持つ。彼女が来たことを期に、少年の退屈から解放された日々を手に入れた。

しかし、硝子とある出来事がきっかけで将也は周囲から孤立してしまう。やがて五年の時を経て、別々の場所で高校生へと成長したふたり。

“ある出来事”以来、固く心を閉ざしていた将也は硝子の元を訪れる。

これはひとりの少年が、少女を、周りの人たちを、そして自分を受け入れようとする物語でした。

【成果】 いじめや自殺の防止、障がいのある子もない子も共に学ぶ「インクルーシブ教育システム」の構築や障がい者理解を普及啓発ができた。

【課題】 アニメーション映画で分かりやすい内容ではあったが、来館者が少なく感じ、SNS等を利用した情報発信・宣伝・広報についてどのように周知していくかを考える課題ができた。

【行事名】 人権講演会「子どもたちの明日を考える」～拡がる格差と貧困～

【実施日】 2019年10月6日(日) 13:00～14:30

【参加者】 33人

【内容】 子どもの貧困(子育て世代の保護者の貧困)が大きな社会問題になっています。広島県が一昨年夏に実施した「子どもの生活実態調査」では、小中学生のいる家庭の4分の1が生活困難層であることが分かりました。経済的に厳しい家庭は、子どもの豊かな育ちを支えるさまざまな条件が十分でないことが多く、健康や学力、義務教育終了後の進路などにおける平均との格差を生む原因になっています。

このような子どもの実態とどのような支援が必要なのかを、ともに考えるきっかけとなる講演会となった。

【成果】 県の実態と、その対策の取組みなどについて、具体的・わかりやすく話され知らなかったことが参加者に伝わった。

【課題】 子どもの問題について活動している団体とのつながりを深め、連携していく必要がある。問題提起にとどまらず、問題解決の方策を考えていく課題ができた。

【行事名】 2019 ふくやま人権・平和フェスタ 第71回人権週間記念の集い

『世界はグラデーションでできている』

～多様性をみとめあう社会へ～

【実施日】 2019年12月8日(日)

【参加者】 400人

【内容】 毎年12月4日～10日の「人権週間」の期間中、市内各地でさまざまな人権啓発のためのイベントが行われています。人権交流センターでも毎年「ふくやま人権・平和フェスタ」を開催しています。

本年は、福山市出身の映画監督渡辺正悟さんを招いての映画上映及びトークショーをはじめ、人権尊重や平和への願いや思いを多くの人に伝えようと取り組んでいる若者たちの活動報告など、今ある人権課題について理解を深める機会となった。また、実行委員会を開催し内容について検討を重ねた。

スケジュール

9:30～ まま～ずプラスアンサンブル♪福山 ウェルカム ミュージック

9:55～ 開会

・主催者 福山市長 枝広 直幹

・実行委員長 土屋 昭子

10:04～ 福山人権擁護委員協議会 人権作文表彰・朗読

10:23～ 福山工業高等学校 継承活動; VR 爆心地

10:40～ メイン行事

映画「性別が、ない！」(60分特別編集版)

& 渡辺監督トークショー

12:00～ 昼休憩

11:15～13:00 (VR体験コーナー:会場1F会議室)

「昭和20年8月6日被爆前後の広島を仮想体験」

(福山工業高等学校電子機械科・計算技術研究部)

13:00～ 福山市立大学 ふくやまのすてきなところをしょうかいします

13:18～ 盈進中学高等学校 手と手から「私たちの核廃絶とハンセン病問題」

13:55～ 部落解放同盟福山市協議会 登録型本人通知制度告知

14:15～ギネスの記録に挑戦!～「おりづるチャレンジ!」

14:35～ふくやまピース・ラボ

朗読

『第二楽章 ～ヒロシマの風 長崎から～』

15:00～支志園

よさこい鳴子おどり

フードコーナー

☆焼きそば☆おでん☆コーヒー☆ポップコーン☆とん汁☆おにぎり

☆山菜おこわ

ロビー展 市民団体の活動やLGBTパネル展示などを展示しました。また、登録型本人通知制度仮受付コーナーも設置しました。

【成果】 さまざまな団体で実行委員会を組織することにより、お互いの相互理解を深め、協力関係を構築することで、人権・平和への取り組みを広めていくことを目的に開催しており、多くの団体からの参加を得ることができた。

今年は、いろいろな意見が反映されていて来年も若者が集うフェスタを継続してほしいとの声があり、たくさんの人たちが集う活気のあるフェスタとなった。

【課題】 前日リハーサルは絶対に必要。(係になっている人も参加が必要。)

市内の大学・高校・中学生等に実行委員会にも参加してもらい若者のアイデア等を反映していく必要がある。

SNSを使用した宣伝を積極的に活用し、実行委員にも積極的な宣伝活動を行う必要がある。

さらに、人権交流センターの活動内容や存在意義を、未来へ残していくために、より積極的な広報活動や新しい団体の参加の呼びかけをしていく必要がある。

3. 人権情報収集・発信業務について

人権交流センターニュースの発行と、インターネットパトロールに取り組んだ。また、図書室内の書籍の整理を行った。

【ニュース 70号】 2019年6月10日発行、A4版、7,000部
2019年度ヒューマンシネマサロン映画上映PR
2019年度人権交流センターロビー展示PR
2019ふくやま人権・平和フェスタ実行委員会募集

【ニュース 71号】 2019年11月21日発行、A4版、7,000部
2019ふくやま人権・平和フェスタPR
2019ヒューマンシネマサロン映画終えての感想
2019人権講演会終えての感想

【ニュース 72号】 2020年2月14日発行、A4版、7,000部
2019ふくやま人権・平和フェスタ感想

【インターネット監視】 2ch・爆サイへの差別書き込みをチェックし、行政と連携、協議し削除要請を行った。

【図書】 現在の保有数4,503冊

【ビデオ・DVD】 現在の保有数ビデオ22本、DVD15本

4. 団体交流室の運営について

現在、団体交流室に登録しているのは次の23団体である。いずれも、福山市とゆにばーさるの協働で実施する人権啓発イベントの実行委員会に参画し、積極的に役割を担っている。また、交流センターを利用して独自の活動も行っている。

それぞれの団体が、人権交流センターを単なる連絡場所・会議の場ではなく、活動の拠点、情報発信の拠点として活用していくよう、働きかけをした。

団体交流室登録団体

団体名
NPO法人ゆにばーさる
NPO法人地域生活支援センターほんわか
トイロニジ ダウン症の子どもと家族の会
まま〜ずプラスアンサンブル♪福山
福山要約筆記サークルさんりん車
福山女性ネットワーク
福山市人権保育連絡会
ハンセン病に対する差別・偏見をなくす市民ネットワークHIROSHIMA
福山ワッタガッタ会
ホッとるーむふくやま
常石ドラム会
NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション福山分室
支志團
デートDV防止ひろしま
福山労働者学習講座
中高生・保護者のための相談室
フードバンク福山
フレンドシップフォース広島
ダンスDanceかすが
NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
備後ばらバラよさこい踊り隊
FUKUふくの会
福山鼓乃会

5. その他の業務について

会場使用受付、物品使用における説明、音響設備・管理においては、利用者に不愉快な思いをさせないように心がけた。

特定非営利活動法人ゆにばーさる

2019年度活動計算書

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位:円)

	ゆにばーさる	立進工房	交流センター	予備会計	独自課税事業	全社
I 経常収益						
1. 受取会費	57,000	0	0	0	0	57,000
2. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等						
助成金	0	1,125,000	0	0	0	1,125,000
訓練等給付費	0	21,030,380	0	0	0	21,030,380
助成金等計	0	22,155,380	0	0	0	22,155,380
4. 事業収益						
事業収入	0	13,556,892	6,485,000	0	52,680	20,094,572
事業収益計	0	13,556,892	6,485,000	0	52,680	20,094,572
5. その他収益						
受取利息	2	33	8	4	0	47
雑収入	0	0	0	0	0	0
その他収益計	2	33	8	4	0	47
経常収益計	57,002	35,712,305	6,485,008	4	52,680	42,306,999
II 経常費用						
1. 事業費						
(1) 人件費						
利用者給料	0	12,419,484	0	0	0	12,419,484
法定福利費	0	118,969	0	0	0	118,969
福利厚生費	0	304,353	0	0	0	304,353
人件費計	0	12,842,806	0	0	0	12,842,806
(2) その他経費						
ロビー展示	0	0	0	0	0	0
広報紙ニュース	0	0	138,910	0	0	138,910
シネマサロン	0	0	142,078	0	0	142,078
人権講演会	0	0	20,381	0	0	20,381
人権・平和フェスタ	0	0	274,780	0	0	274,780
利用者交通費	0	635,800	0	0	0	635,800
仕入・外注費用	0	777,241	0	0	0	777,241
備品消耗品	0	1,265,653	0	0	0	1,265,653
種苗費	0	280,157	0	0	0	280,157
租税公課	0	549,500	0	0	0	549,500
修繕費・支払手数料	0	344,894	0	0	0	344,894
減価償却費	0	74,123	0	0	0	74,123
雑費	0	150,000	0	0	0	150,000
その他経費計	0	4,077,368	576,149	0	0	4,653,517
事業費計	0	16,920,174	576,149	0	0	17,496,323
2. 管理費						
(1) 人件費						
給料手当	0	10,450,024	4,440,600	0	0	14,890,624
法定福利費	0	1,398,950	799,634	0	0	2,198,584
福利厚生費	0	256,151	0	0	0	256,151
人件費計	0	12,105,125	5,240,234	0	0	17,345,359
(2) その他経費						
事務用消耗品	0	106,879	426	0	0	107,305
備品消耗品	0	77,242	20,137	0	0	97,379
燃料費	0	665,753	0	0	0	665,753
機械維持・修繕費	0	369,660	0	0	0	369,660
旅費交通費	0	394,550	190,360	0	0	584,910
地代家賃	0	1,348,300	0	0	0	1,348,300
水道光熱水費	0	237,575	0	0	0	237,575
通信費	1,450	680,048	15,028	0	0	696,526
保険料	0	532,400	0	0	0	532,400
リース料	0	641,421	0	0	0	641,421
支払手数料	0	487,828	140,420	0	0	628,248
支払利息	0	25,364	0	0	0	25,364
租税公課	0	224,804	391,800	0	2,100	618,704
減価償却費	0	219,283	0	0	0	219,283
接待交際費	0	66,364	0	0	0	66,364
広告宣伝費	0	3,000	0	0	0	3,000
寄付金支出	0	0	0	0	47,400	47,400
会議費	1,481	0	0	0	0	1,481
研修費	0	41,702	0	0	0	41,702
雑費	0	431,061	0	0	0	431,061
その他経費計	2,931	6,553,234	758,171	0	49,500	7,363,836
管理費計	2,931	18,658,359	5,998,405	0	49,500	24,709,195
経常費用計	2,931	35,578,533	6,574,554	0	49,500	42,205,518
当期正味財産増減額	54,071	133,772	△ 89,546	4	3,180	101,481
前期繰越正味財産額	373,026	4,645,989	271,444	797,198	77,400	6,165,057
次期繰越正味財産額	427,097	4,779,761	181,898	797,202	80,580	6,266,538

2019年度特定非営利活動事業会計 貸借対照表
2019年4月1日～2020年3月31日

	ゆにばーさる	立派工房	非収益事業計	ゆにばーさる	人権交流センター	預備会計	収益事業計	合計
《資産の部》								
【流動資産】								
(現金預金)								
現金	225,765	229,850	455,615	30,000	645,817	140,000	815,817	1,271,432
普通預金 中国銀行	3		3					3
普通預金 広島銀行	201,329	877,499	1,078,828	52,680	244,866	78,523	375,869	1,454,697
普通預金 広島銀行		108,944	108,944					108,944
普通預金 農協		69,950	69,950					69,950
定期預金 広島銀行		120,000	120,000					120,000
現金・預金 計	427,097	1,406,243	1,833,340	82,680	890,483	218,523	1,181,686	3,025,028
(売上債権)								
売掛金		90,000	90,000					90,000
未収入金		5,134,520	5,134,520					5,134,520
売上債権 計	0	5,224,520	5,224,520				0	5,224,520
(その他債権)								
前払費用		10,107	10,107					10,107
他会計貸付金					653,857	578,679	1,232,536	1,232,536
その他債権計		10,107	10,107		653,857	578,679	1,232,536	1,242,643
流動資産 計	427,097	6,640,870	7,087,987	82,680	1,544,340	797,202	2,424,222	9,492,189
【固定資産】								
(有形固定資産)								
建物		316,531	316,531					316,531
構築物		140,220	140,220					140,220
車輜運搬具		200,156	200,156					200,156
機材 器具		513,353	513,353					513,353
有形固定資産 計		1,170,260	1,170,260				0	1,170,260
(投資その他の資産)								
預託金		4,680	4,680					4,680
敷金		368,000	368,000					368,000
保険積立金		2,265,055	2,265,055					2,265,055
投資その他の資産 計		2,637,735	2,637,735					2,637,735
固定資産 計		3,807,995	3,807,995					3,807,995
資産の部 合計	427,097	10,448,865	10,875,982	82,680	1,544,340	797,202	2,424,222	13,300,184
《負債の部》								
【流動負債】								
買掛金		20,200	20,200					20,200
未払金		2,452,173	2,452,173		472,275		472,275	2,924,448
短期借入金		1,200,000	1,200,000					1,200,000
預り金		23,374	23,374		85,188		85,188	108,562
未払消費税		269,500	269,500	2,100	149,200		151,300	420,800
未払法人税等					77,100		77,100	77,100
他会計借入金		653,857	653,857		578,679		578,679	1,232,536
流動負債 計	0	4,619,104	4,619,104	2,100	1,362,442	0	1,364,542	5,983,648
【固定負債】								
長期借入金		1,050,000	1,050,000					1,050,000
固定負債 計		1,050,000	1,050,000					1,050,000
負債の部 合計		5,669,104	5,669,104	2,100	1,362,442	0	1,364,542	7,033,648
《正味財産の部》								
【正味財産】								
正味財産	427,097	4,779,761	5,206,858	80,580	181,898	797,202	1,059,680	6,266,538
(うち正味財産増加額)	54,071	133,772	187,843	3,180	-89,548	4	-88,362	101,481
正味財産 計	427,097	4,779,761	5,206,858	80,580	181,898	797,202	1,059,680	6,266,538
正味財産の部 合計	427,097	4,779,761	5,206,858	80,580	181,898	797,202	1,059,680	6,266,538
負債・正味財産合計	427,097	10,448,865	10,875,982	82,680	1,544,340	797,202	2,424,222	13,300,184

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

NPO法人ゆにばーさる
全事業所

〔税込〕(単位:円)
2020年3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	1,271,432
広銀センター	244,666
広銀資料館	78,523
広銀ゆにばーさる	201,329
広銀課税ゆにばーさる	52,680
広銀松永支店	108,944
広銀本部竹ヶ端	877,499
広銀定期積立	120,000
農協普通預金	69,950
中国銀行	3
現金・預金 計	3,025,026

(売上債権)

売掛金	90,000
未収金	5,134,520
売上債権 計	5,224,520

(その他流動資産)

他会計貸付金	1,232,536
前払費用	10,107
その他流動資産計	1,242,643

流動資産合計

9,492,189

【固定資産】

(有形固定資産)

建物	316,531
構築物	140,220
車両運搬具	200,156
什器備品・機械器具	513,353
有形固定資産 計	1,170,260

(投資その他の資産)

預託金	4,680
敷金	368,000
保険積立金	2,265,055
投資その他の資産 計	2,637,735

固定資産合計

3,807,995

資産の部 合計

13,300,184

《負債部》

【流動負債】

買掛金	20,200
未払金	2,924,448
短期借入金	1,200,000
預り金	108,562
源泉所得税	(28,868)
住民税	(35,300)
社会保険	(49,791)
未払法人税等	77,100
未払消費税	420,800
他会計借入金	1,232,536
流動負債 計	5,983,646

【固定負債】

長期借入金	1,050,000
固定負債 計	1,050,000

1,050,000

負債の部 合計

7,033,646

正味財産

6,266,538 /